

「学校の桜を守り育てる」桜守ボランティア活動報告(その2)

- ◇報告者 / 心理学科 1年:前田 芯(文教大学文教科人)
- ◆日時 / 2026年2月14日(土)9:00~12:00
- ◆場所 / 広島文教大学
- ◆目的 / 毎年きれいな桜を咲かせるための桜の保全作業に関わることで、自然と関わりながら環境を整える大切さについて知る機会とする。
- ◆参加者 / 19名
ひろしま人と樹の会会員:13名、学生(文教科人):4名 教職員:2名

<活動内容>

秋の地質調査の振り返りを行い、大学校内の桜約20本の施肥と剪定を行った。

- ・校内、学生寮のサクラ約20~30本の周囲土壌への施肥・手入れ
- ・サクラ周囲の土壌改善(対象は11/22地質調査結果により選定した数本のサクラ)



(感想)

- 前回は桜守のボランティア活動に参加させていただいてから時間が経っており、久しぶりに機械に触れてみると最初は使いこなすのに時間がかかりましたがひろしま人と樹の会の方々がアドバイスをくれたり手伝ってくださったおかげで順調に作業を進めていくことができました。また、作業を行っている合間に植物のことについてお話くださり、植物について新しい知識を得ることができました。普段使わない機械を使い、楽しみながら貴重な経験をすることができました。
- 切った桜の枝を水に浸けておくとまた桜の花が咲くと話していたので、今回いただいた枝で試してみようと思いました。
- 前回は参加していたので、今回は要領も掴むことができ前回よりもスムーズに作業を行うことができました。今回もらった桜の枝は大切に育てたいと思います。
- 桜の木の剪定や肥料やりといった活動を通して、多くの知識を身に付けることができました。実際に手を動かす中で、経験として学びを得られたと感じています。また、休憩の合間には自然や植物に関する疑問を投げかけてくださり、その都度新しい知識について知ることができました。私は今年度卒業しますが、後輩たちには今後も大学の自治に積極的に取り組んでもらいたいと思います。そして、私自身も自然に関わる活動に興味を持ちこれからも続けていきたいと思っています。